

交通安全へ願いを込めて

平成23年、京都府内で起きた交通事故で当時4歳の男の子が亡くなり、生前、男の子が大切にしていたひまわりの種が御両親から警察に託されました。この種から増えたひまわりを育て、大輪を咲かせることで、「命の大切さと被害者支援」、「交通事故根絶の願い」を伝える取組を、本年も行っています。



「ド根性ひまわり」の状況です ↑

伊東警察署の花壇で育てていたひまわりのうち、1本が花を咲かせました！

1本だけ成長が早いですが、このひまわりは今年の3月に発芽しました。おそらく、昨年の収穫時にこぼれた種が地中で冬を越したものと思われます。このため、「ド根性ひまわり」と名前を付けました。

伊東市内における交通事故防止の鑑として、また、ほかの「後輩ひまわり」の成長をけん引する灯台として、その存在をアピールしてくれています。是非、ご来署の際は、「ド根性ひまわり」をご覧ください。